学校番号	408

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	3	・Vivid English Communication III（第一学習社） ・Vivid English Communication III 予習・授業ノート（第一学習社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の４技能をつけるために、授業ではペアやグループでの言語活動があります。積極的に活動に取り組みましょう。
・音読活動は４技能をつけるために大切な活動です。発音だけでなくリズムやイントネーションに注意し、文の意味も意識して何度も自主的に練習しましょう。
・英語を習得するためには復習が大切です。コミュニケーションに必要になる基本的な語句や表現をしっかり覚えましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常生活に関する指示の要点を理解することができる ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる	・簡単な語句や表現を使って書かれた個人的に興味のあるトピックに関する文章を読んで、イラストや写真も参考にしながら理解することができる ・簡単な語句や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる	・駅や店などの日常的な場面において、さまざまな語句や表現を用いてやり取りすることができる ・簡単な語句や表現を使って、意見を伝えたり、人や物を比べたりすることができる	・前もって発話することを準備した上 で、身　近な話題について簡単な語句や基礎的な表 現を使って、複数の文で意見を言うことができる ・前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する事実を、簡単な語句や基礎的な表 現を使って、複数の文で描写することができる	・自分の経験について、辞書を用いて短い文章を書くことができる ・簡単な語句や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	聞くこと	a: 登場人物の思いや活動、科学的・社会的トピック（黄金比、エシカル消費）に関する語句や表現を音声で聞いて理解している。 b: 放送やスピーチを聞き、指示語が指す内容やつなぎの語句に注意しながら、情報の要点を整理して聞き取っている。 c: 多様なトピックの概要や詳細を正確に捉えようと、集中して聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 句読法、意味のまとまり、指示語の指す内容、つなぎの語句に注意して英文を正しく読むことができる。 b: 各題材（渡辺直美、クオッカ、岡本太郎、ラオ、黄金比、エシカル消費）について、情報のつながりを把握し、その内容や筆者の考えを整理している。 c: 既習の文法事項を活用し、複雑な内容についても粘り強く読み進め、理解を深めようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 整理した情報を伝えるために、適切な構成やつなぎの語句を用いて話している。 b：題材の内容を整理し、聞き手が理解しやすい順序で、自分の考えや事実をスピーチしている。 c: 聞き手への伝わり方を意識し、視線、声の大きさ、間の取り方などを工夫しながら、自信を持って伝えようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （やりとり）	a: 知りたいこと、発明してほしいもの、エシカルな消費者の行動について質問・回答するための適切な語彙・文法を習得している。 b: 整理した内容をもとに、自分の考えや提案を、相手の反応に応じて即興的にやり取りしている。 c: 相手に伝わるよう配慮しながら、対話を通じて互いの理解や考えを深めようと積極的に参加している。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 句読法を正しく使い、指示語やつなぎの語句を適切に用いて、読み手に伝わる英文を書いている。 b: 整理した内容を活用し、読み手が納得できるよう、具体例を挙げたり詳しく説明したりして書いている。 c: 読み手が理解しやすいよう、構成を練り、語彙や表現を精査しながら、より良い文章を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	聞くこと	a: 多様なトピック（オランウータンの学校、ラグビー、VR 技術、文学の翻訳など）に関する語句や、論理構成を示すつなぎの語句を音声で聞いて理解している。 b: 放送やスピーチを聞き、事実関係の因果関係や、提示される複数の情報の関係を整理して概要や要点を捉えている。 c: 専門的な内容や抽象的なテーマについても、既習の知識を活用して、内容を正確に聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 原因・結果、対比・対照、列挙を示す語句に注意して、英文の論理構造を正しく理解している。 b: 複数の情報を比較したり整理したりしながら、筆者の考えを的確に読み取っている。 c: 指示語やつなぎの語句に着目し、文と文のつながりを意識しながら、粘り強く読み進めて内容を整理しようとしている。	定期考査 （リーディング）

		話すこと （発表）	a: 整理した情報を提示するために、列挙や因果関係を用いた分かりやすい構成でスピーチを行っている。 b: 本田圭佑選手の活動やオランウータンの現状、VR の未来などについて、聞き手が理解しやすい順序で情報を構成し、自分の意見を添えて発表している。 c: 聞き手の興味を引くような工夫をしながら、最後まで自信を持って伝えようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （やりとり）	a: 多様なチームをまとめる方法や、VR の活用案、翻訳の好みについて対話するために必要な語彙・表現を習得している。 b: 整理した内容をもとに、自分の考えを、根拠を持って相手に即興で伝えている。 c: 相手の反応に応じて、つなぎの語句を使いながら論理的に説明したり、質問を重ねたりして対話を持続させようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 句読法やつなぎの語句を適切に使用し、原因・結果、対比、列挙を意識した構造的な文章を書いている。 b: 読み手が納得できるよう、整理した情報を活用して詳しく書いている。 c: 読み手に自分の意図が正確に伝わるよう、語彙の選択や文章のつながりを推敲しながら、丁寧に書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2	Lesson 7 Lesson 8	聞くこと	a: つなぎの語句をヒントに、情報の重なりや展開を音声で聞いて理解している。 b: 主題文を意識して聞き、話の主旨とそれを支える具体例を整理している。 c: 歴史的な取り組みや夢の実現に関する話を、背景を想像しながら集中して聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 主題文と支持文の役割を理解し、つなぎの語句に注意して英文を読んでいる。 b: パラグラフの構造を分析し、さかなクンの生き方や天然痘根絶のプロセスについて内容を要約・整理している。 c: 段落同士のつながりを意識し、論理構成を自力で紐解こうと粘り強く読み進めている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 主題文から書き出し、支持文で詳しく説明するという構成を用いて、仕掛けの効果について発表している。 b: 人の行動を変える仕掛けについて、その仕組みと効果を論理的な順序で整理し、聞き手に分かりやすくスピーチしている。 c: 聞き手が仕掛けの面白さを理解できるよう、声のトーンや情報の出し方を工夫している。	スピーキング テスト
		話すこと （やりとり）	a: コロナ禍で学んだことについて、適切な語彙や追加の語句を用いてやり取りしている。 b: 相手の発言に対し、自分の経験や考えを追加して、対話を深めている。 c: 共通の話題について、相手の意見を尊重しつつ、自分の考えを誠実に伝えようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 句読法やつなぎの語句を正しく使い、主題文と支持文の構成で文章を書いている。 b: 仕掛けの効果やコロナ禍での学びについて、読み手が納得できるよう根拠を添えて詳しく書いている。 c: 自分の考えが論理的に構成されているか、推敲を重ねてより伝わる文章に仕上げようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 9 Lesson10	聞くこと	a: 未知の語が出てきても、前後の文脈から意味を推測しながら、概要を音声で理解している。 b: 聞き取った情報の中から、客観的な事実と話者の意見を区別してメモを取るなど、情報を整理している。 c: 環境問題やデジタル社会の課題という複雑な内容に対し、情報を批判的に聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 文脈や既習の語彙をヒントに、未知語の意味を推測しながら英文を読んでいる。 b: 文章中の事実と筆者の意見を正確に分類し、地球温暖化や宇宙ごみ問題の核心を理解している。 c: 表や図と英文を照らし合わせ、多角的に情報を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）

		話すこと （発表）	a: 表から読み取った情報を、適切な比較表現や推測の表現を用いて発表している。 b: ウォーターフットプリントや温暖化対策について、客観的なデータを示しながら、自分の提案を論理的に構成してスピーチしている。 c: 視覚資料を効果的に指し示しながら、聞き手の理解を助けるよう配慮して話している。	スピーキング テスト
		話すこと （やりとり）	a: ウォーターフットプリントや温暖化対策について、推測や事実に基づいた表現を用いて意見交換している。 b: 相手の質問に対し、データに基づいた意見を述べ、具体的な解決策について即興でやり取りしている。 c: 複雑な社会課題に対し、自分にできることを前向きに伝え、対話を通じて解決の糸口を探ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 事実と意見を明確に書き分ける表現を使い、論理的な一貫性のある文章を書いている。 b: 地球温暖化対策などについて、現状と自分の考えを整理し、読み手に説得力のある提案を書いている。 c: 読み手が誤解しないよう、データの出典や根拠を明確にし、正確に伝えようと努めている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	Lesson11	聞くこと	a: 時間的順序を示す語句に注意して、三代さんの旅の経緯や心境の変化を音声で理解している。 b: 旅の体験がその後の考え方にどう影響したか、情報の前後関係を整理して聞き取っている。 c: 三代さんの生き方に共感や敬意を持ち、その言葉の意図を深く汲み取ろうと集中して聞いている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 関係代名詞 which の用法を理解し、補足的な説明を正しく読み取っている。 b: Part 1・2 と Part 3 を比較し、三代さんの考え方がどのように変容したかを分析・整理している。 c: パラグラフ間の時間的なつながりに着目し、三代さんの歩みを追体験するように読み進めている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 時間的順序に沿って情報を整理し、関係代名詞 which を用いて文をつなぎながら、流暢にスピーチしている。 b: 自分の人生に影響を与えた人物について、出会いから現在に至るまでのエピソードを整理し、聞き手の心に残る構成で発表している。 c: 自分の思いを込めて、表情やジェスチャーを交えながら、聞き手に語りかけるように話している。	スピーキング テスト
		話すこと （やりとり）	a: 自分の人生に影響を与えた人物について、関係代名詞 which 等を使って情報を補足しながら話している。 b: 相手から人物について尋ねられた際、その人の行動や、それが自分にどう影響したかを即興的に説明している。 c: 相手の大切にしている価値観や人物について、敬意を持って質問し、対話を広げようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: which を用いた継続用法を適切に活用し、一文に情報を豊かに追加して書いている。 b: 三代さんの考え方の変化や、自分に影響を与えた人物について、時間の流れと論理的な因果関係を明確にして書いている。 c: 三代さんの言葉や影響を与えた人物の魅力を最大限伝えるため、言葉選びや文章のつながりを丁寧に推敲している。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度